

### 第3回 栃木県立益子芳星高等学校 学校運営協議会 報告

開催日時 令和5年3月17日(金) 13:30~15:30

開催場所 本校会議室

出席委員 岡 良一郎 佐久間藤也 加藤 義勝 篠原 泰三  
佐藤 広志 君島 芳一

#### 1 開会

#### 2 会長挨拶

6月25日に高校再編の県民フォーラムに参加した際の内容をお伝えする。

- ・第三期の高校再編は未定である。
- ・基本的な考え方は従前どおり、大きな変更はない。クラスは4~8クラスが適正で理想は6クラス。特例校についても大きく変更することはない。
- ・魅力化と特色化は必要だが、本件の生徒の特性を考えると新たな学科の設置は難しい。普通科のコースの中で柔軟に対応する。

高校存続のために偏った見方でなく考え方そのものを少しずつ変えていく必要があると感じた。

#### 3 学校長挨拶

11月にコロナ陽性が増大するなどコロナ対応が大変な1年だったが、卒業式では127名を無事に送り出せた。新入生については160名の定員に対して135名と3年ぶりの定員割れで残念であるが、しっかりと預かって学ばせ、社会に送り出していきたい。

#### 4 出席者紹介

紙面にて

#### 5 協議

##### (1) 令和4年度学校評価アンケート報告 資料1により説明

11月に生徒と保護者対象で実施。昨年までは紙で配布していたが、今年度からはメールやQRコードを利用。回答方法を変更したことで違った傾向が出ることを予想したが、概ね例年どおりである。

○保護者

##### 【良い点】

12 いじめ対応 6%up 13 生徒指導 7%up 15 学校行事の充実 5%up

##### 【課題】

20 PTA コロナ禍で行事が少ない為 22 家庭学習の充実 低いまま

【自由記述】

コロナ禍で学校行事が少なく、学校の様子が分かりにくい  
送迎の際の徒歩通学・自転車通学の生徒のマナー 交通事故が心配  
一斉メールをもっと活用してほしい

○生徒

【良い点】

2 コース制のわかりやすさ 1年生から新コースになるので1学年の  
先生が丁寧に説明した結果であると思われる

6 ボランティアの参加 地域と連携した活動に参加していると認識し  
ている生徒が多い

【課題】

21 家庭学習 保護者と同様の結果

【自由記述】

スマホから回答できるのでダイレクトな意見が多数  
学校祭の一般公開など学校行事の充実を望んでいる

(2) 令和4年度学習に関するアンケート報告 資料2により説明

QRコードから無記名で実施 自由記述では前向きな意見が多かった。

○自主的・計画的が減少、気分次第が多い。早めに進路意識を高めていく。

○スマホやTVなどに時間を使っている。そのため気分次第の学習になっ  
ていることが予想される。

○家庭学習を全くしない割合は例年と同様だが、1～2時間と回答した生  
徒は増加。課題(宿題)に取り組んでいると思われる。

○テスト日程の時間割が出てから意識する生徒が多い。

(3) 令和4年度進路状況報告 資料3により説明

○資料の訂正 進学55名→56名(大学決定)

○在家についてはアニメ系の仕事をアルバイトからするという事。

○進学と就職の割合が R2 6:4 R3 5:5 R4 4:6 と就職  
が増加。コロナの影響かどうかは不明。

○進学者については大学や専門学校でしか取得できない資格にチャレン  
ジするように指導。AO入試傾向が強い。コロナ禍よりオープンキャン  
パス等を実施するようになったので通っているうちにポイントがたま  
って合格となるケースもある。ペット関係人気。指定校・公募推薦・特  
待生など少しでも学費を安くすることを目指している。

○就職者については積極的に管外にでることを呼びかけた。

管内の求人倍率 R2 0.98 R3 0.81 R4 1.01

県内の求人倍率 R3 1.01 R4 1.19

管内より県内の方がチャンスがある。生徒の傾向は中小企業より大手。福利厚生・通勤距離・勤務体制のよいところ。

内定率としては99%。食品・製造・アルミ・自動車・スーパーなどは募集があるが、観光・アパレルはまだ厳しい。全体的（県外含む）に求人数は2倍くらいに増加。

○定期的な公務員講座の実施の結果 真岡市役所と上三川役場に合格者各1名。

#### 【上記内容について意見交換】

- 学校からのメールはコロナ禍で活用が増えて PTA 関係の集まりが減った。プラス面とマイナス面がある。
- すべての教育機関で広がり、顔を合わせての付き合いがない。保護者からの意見でメールが遅いという意見があるのはどういうことか。
- 緊急性のあることや下校時間の変更など速やかに連絡しているが、保護者からしてみればもっと早く知らせしてほしいということではないか。
- 通学は制服着用のルールなのか？部活動後など着替えるのか？
- 防寒着としてのウインドブレーカーの着用は認めている。
- いじめが多いという意見が気になる。
- 年に3回いじめアンケートの実施。いじめを見聞きしたことはないか、些細なことでも記述があった場合は確認している。SNSなど目に見えないやりとりで些細なことでもいじめと受け取ることもある。
- 高校生は親に相談することも少ないし、SNSは学校の先生は気付くことができない。コロナ禍で行事が少なく人との関りが減りどんな影響があったのか。
- 行事を中止にするのではなく応援は声を出さないなどルールを設けて実施。制限がある中でも生徒は友人と協力して楽しんでいる。
- スマホはどういう扱いをしているのか。
- 朝、ホームルームで預かり帰りに返却している。
- 若い世代は常にスマホを持っていないと安心できない。その不満を解消する良い方法があれば良いのだが。民生委員の会議で今年度の益子町で産まれた子供は62名だった。その世代が高校生になるころには学校の定員が心配である。
- 学習に関するアンケートで勉強の仕方を教えてほしいという意見があったが、このような生徒は中学生の頃から悩んでいる。

- 町としてのサポートがあると良い。
- 茂木町や那珂川町は町が塾のような取り組みをしている。栃木市の皆川地区が有志で塾のような取り組みをしている。塾に通っている生徒はいるのか？
- 1年生は数名いる。塾から2年生ではどんな内容をやるのか問い合わせが来ることもある。
- 茂木町は町でやっている。
- 益子町は真剣に考えてほしい。
- 中学生は塾に行かなくても大丈夫という時期もあったが、中学生のうちに勉強のやり方を学ばないと高校生になってつらい。
- 勉強していないようだが読書についての調査結果はあるのか。「読む」ことを覚えるのは将来必要。机に座って集中する時間があるといい。益子町には図書館の問題がある。色々な図書館を見るとそこに子供たちがどれだけいるかで判断できる。アニメ好きな先生もいるだろうから生徒たちとそのような会話もできるとよい。
- 読書についてはクラスを抽出して調査。1か月に1冊も読んでいない生徒が殆ど。例年図書館で本をたくさん借りた多読賞の表彰をしているが、今年は該当生徒がいない。
- 小中学校は読む子と読まない子の読書時間にすごい差がある。
- 家庭学習を4割が全くしていない。目的があればするのだけれど、なるようになると考えていきあたりばったりなのでは。まず目的意識をしっかり持たせていくことが大切。
- 勉強しなさい。ではなく何になりたい？ どうしたい？と問いかける。
- 勉強をやらない子は何を言ってもやらない。それなら授業中だけしっかりきけば大丈夫な授業を。授業が遅くなっても丁寧に教えることができると良い。焼き物の学校では職人を育成するのが目的なのに時間がないので未完成でも次に進んでしまう。それと一緒に。
- 127名卒業ということだが、この年度の入学したのは何人か。
- 卒業生の県内外の割合が知りたい。
- 147名入学。20名は通信制などの学校に転学。県外の進学者は2～3名、就職者は8～9名。コロナになってから県外は人気がない。
- 専門学校に進学する生徒が一番多いのは手に職をつけようとしているのか。
- コース制の学校を選んだ時点で働くことに関しての意欲は高い。とりあえず大学行くという生徒は少ない。
- 公務員の専門学校に行った生徒の方が大学生より直接専門的なことを

教わってきているので良い場合がある。

- 進学クラスに就職者が多いのは何故か。
- 先輩の姿を見て大学卒・専門卒よりも大手の企業に就職できることがあることを理解している。
- 益子焼の研究生も無謀な夢を持っていたりするが、夢があるからそれが原動力になっている。
- ボランティアについての意識が保護者はマイナスで生徒がプラスになっているのは何故か。
- 地域の活動に参加している自覚を持っている生徒は多いが、保護者から見るとコロナで行事が中止になっている現状が下火にみえている可能性がある。

(4) 令和4年度栃木県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会結果報告  
資料4及びDVD視聴

(5) 未来を創る高校生地域連携 資料5により説明

【上記内容について意見交換】

- 家庭クラブの動画は完成度の高い素晴らしい発表。子供たちが主役のいいMV。
- 陶器市ボランティア等でも頑張ってもらっている。警察から益子町の祭りはきれい、若い人がゴミ拾いをしてくれて活性化につなげてくれると褒められている。
- 高校生のボランティア現場に接すると生き生きしている。益子町在住の生徒が少ないので町外からきている生徒が益子町を勉強してかかわってくれることを期待している。
- ずっと実施していた陶器市に高校生ボランティアが入ってから、入っていない時期に比べて雰囲気明るくなった。色々な方から高校生は高く評価されている。
- 地域の中にと意識がしっかりある。
- 活動が自分たちのものになっている。高校生の発表は大人にとっても勉強になる。

(6) 益子芳星高等学校の魅力化、特色化に関する意見交換

- どのような学校だったら入学したいかもう一度新入生になったつもりでというアンケートを実施してみたらどうか。
- 里山の環境の良いところで学べる。金毘羅池、弁天池、古墳周辺に散歩

道の計画がある。

- 5分でも10分でも学習に集中できる環境づくりを。アニメから読書につながったりする。ホンダの創始者の漫画などは勉強なる。素晴らしいボランティアが続いているがプラスアルファで将来の目標につながるものを見つけてもらえたらと思う。
- 内部の充実を図りながら町との関係をもっと強めていくことが必要。
- 今後の魅力化、特色化に貴重な意見をいただいた。新しい校則など生徒と教員が話し合ってはどうか。高校生が来るということは町にとってはメリット。絶対になくしてはいけない。2年間、会長という大役をこなすことができた。将来にわたって学校の存続を望んでいる。

## 6 その他

委員の任期は2年。継続等については個別に連絡